

# 新潟県長岡市 川堀 龍（かわぼり たつる）

～ デジタルデバイド解消を目的とした多世代交流の創出 ～



## 協力隊に応募したきっかけ

高専や長岡技科大での研究生活とは異なり、人と直接かわる仕事をしてみたいと思ったのが大きなきっかけです。協力隊のミッションの中でも、学生時代に使用してきたデジタル技術やコミュニケーション能力を発揮できると思いミッションの選択をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まだデジタルが普及していない業界、施設の支援を含め、ミッションと同じようにデジタルデバイドが解消できるような活動をしていきたいです。

## 活動内容

### ●スマホカフェ（相談所）開催

シニアにとって何者かも分からないスマホを1つでも多く聞き出せるように、カフェスタイルで茶菓子を食べながら気軽にスマホの相談ができる場づくりをしています。現在では、協力隊卒業後も開催できるように地域の方が地域の人に教えられるような場づくりも意識をして開催しています。



### ●日常に役立つスマホ機能の講座開催

QRコードの読み取り方やアンケートの答え方など日常に必要な（役立つ）機能を知ってもらい体験する講座を開催しています。講座は地域の人のご意見やコミセンに寄せられるアンケート、施設で今後活用したい機能など、地域や施設に合わせた内容を選択しています。キャッシュレス講座では、実際にチャージから買い物するところまで伴走しました。



### ●eスポーツやスマホを介した中学生と地域住民との交流授業

中学校の総合学習の時間に中学生が地域のシニアにスマホを教える授業やeスポーツで交流する時間を組み込んでもらい、デジタル機器を介して多世代交流の場を作りました。協力隊としては、この授業のファシリテーターとして参加し、シニアへの教え方やデジタルでできることなどの講義を行いました。

